

・経済再起動のマインド転換と新型コロナウイルス不安払しょく健康づくりについて（知事・総務部長・企画地域振興部長・商工部長。農林水産部長・人づくり県民生活部長・保健医療介護部長・教育長）

おはようございます。緑友会福岡県議団の神崎聡です。

新型コロナウイルス感染症拡大で、私たちの生活は一変しました。知事は、「コロナ対策をしながら経済をしっかり回していく」と申されています。新型コロナウイルス拡大を抑えながら、経済を再起動させる。

この4連休中は、行楽を含めて、かなり賑わいを取り戻したようで、一方、本県の新型コロナウイルス感染・PCR陽性者数は、1桁台が続いています。しかしながら知事、一度、冷え込んだマインドを転換させることは、そんなに容易なことではありません。福岡県民の先頭に立つ知事が、未来の社会を明るく描かなければ、私たち福岡県民は後ろ向きのままで、前向きな気持ちになれません。

本日の質問のねらいは、県民の冷え込んだマインドを転換させるための、知事の経済再起動への力強いメッセージを頂くことにあります。

新型コロナウイルスは、現在までワクチンも治療薬もありません。したがって、私たち一人ひとりができることは、適度に運動し、しっかり食事を摂り、よく寝ること。そして日光浴をすることで免疫力を高めることにあるんだと思います。

そういう中で、2月に開始しました「ふくおか健康ポイントアプリ」は、まさに免疫力を高める非常に良い取り組みだと思います。私も利用してから、すこぶる体調がよく、何よりも健康を意識するようになりました。

利用者10万人を目標として、本議会9月補正予算にアプリの機能を充実させるために、4千5百90万円余を計上しています。一人でも多くの県民の皆さんの健康増進に役立てて頂きたいと思います。

さて、私はこれまで様々な運動、スポーツをしてきました。社会人になってからは、スキーに加え、テニスやゴルフ、小型船舶の免許を取得しては、ボートや水上バイクなどのマリンスポーツに、そして空にも挑戦しようとパラグライダーにもチャレンジしてきました。

始めたきっかけは、まだ独身でありましたから、女性との出会いを求めてのもので、動機は極めて純粋でした。

積極的にチャレンジしてきたスポーツではありますが、ゴルフだけは、会社の上司からの勧められたもので、自分から始めようと思ったものではありませんでした。特に目的も目標もなく始めたゴルフでしたが、どういうわけか、今でも継続し、これからも続けていこうと思っていますから、私にとっては、性に合っているスポーツなんだと思います。ゴル

フというのは、老若男女、子どもから年配になるまで続けることができ、かつオールシーズンを通じて、楽しめるスポーツです。

先程、「ふくおか健康ポイントアプリ」を利用していると申しましたが、先日、ゴルフをする機会があり、ワンラウンド回って、実際どのくらい歩くのか確かめてみました。ゴルフ場に到着してからで、殆どカートには乗らず、ワンラウンド回り、レストランやトイレへの往復を含めて計測しました。

結果は約1万8千歩でした。成人男性の一日の目標が9千歩ということなので2倍の歩数となります。しかもコンクリートではなく、芝生の上を歩きますので膝への負担も少なく、傾斜では踏ん張ったりしますので、下半身も鍛えられ、クラブの素振りで少なからず筋肉もついてきます。したがってゴルフは、広大な土地で三密にもならず、しかも健康に良く、免疫力も高まりますので、コロナ禍にあっても、大いに振興すべきスポーツであるといえます。

そこでゴルフの振興の観点から質問したいと思います。

本県のゴルフ場は約58のゴルフコースと約62カ所のゴルフ練習場があり、その数は九州各県の中では断トツであります。ちなみ2位の熊本県が、ゴルフ場の数が約42のゴルフコースと、ゴルフ練習場数は48カ所、3位が大分県で約25のコースと37カ所の練習場となっています。

従いまして、本県のスポーツ振興にとって、ゴルフはポテンシャルの高いスポーツなのではないかと考えます。

ところが調べましたところ、本県のゴルフ場利用人数は、10年前の平成21年度には約2百33万2千人、ゴルフ場利用税収入額は約11億9千万でしたが、令和元年度実績は、利用者数が約2百11万4千人でありまして、ゴルフ場利用税収入額は11億2千9百万円余となっていました。

つまり10年前と比較しますと、利用者は約22万人減少し、税収では1億6百万円余の減少となります。

そこで知事にお尋ね致します。スポーツ立県を掲げ、本年2月定例会で、県民の心身共に健康で文化的な生活及び活力ある地域社会の実現に寄与するため、「福岡県スポーツ推進条例」が可決されました。

しかしながら、私たちの身近なスポーツとなっているゴルフの実態を取り上げてみましたら、利用者減となっている厳しい実態がわかりました。

今後、高齢化が加速化され、人口減少となってきますと、かなり力を入れて推進しないと、胸を張って「スポーツ立県福岡」とは言えないのではないかと思います。また、貴重な財源であるゴルフ場利用税のさらなる減少も危惧されてきます。知事はこのような状況に対してどのような認識をお持ちなのでしょう。お尋ね致します。

ゴルフの振興には、ジュニアゴルファーや女性のゴルファー育成などゴルフ人口の確保も重要だと考えます。また、本県ではプロトーナメントの開催もあり、テレビ中継などで

本県の食や特産品の発信など大きく寄与しています。また、ゴルフのプレーのみならず、宿泊や食事、観光へと本県経済にも大きく寄与しているのも事実です。知事はゴルフ振興を、あらゆる面から今後どのように図っていこうとお考えなのかお尋ね致します。

さて、気楽にできるゴルフ型ニュースポーツとしてのゴルフには、グランドゴルフやターゲット・バードゴルフなどがあります。すそ野が大変広く、健康づくりや未病対策などに非常に有効だと考えられています。

これらのゴルフは、学校のグランドや広場など身近な場所でできる楽しいスポーツでありますから、小さい子供から楽しく親しめ、高齢者も含めて、みんなで楽しめます。

そこで知事にお尋ね致します。気楽にできるゴルフ型ニュースポーツとしてのゴルフの振興をどう推進していくのかお答え下さい。

教育長にお尋ね致します。

私が初めてゴルフに触れたのは、社会人になってからと申しましたが、実は小学校6年生の時でありました。家の近くの林で棒切れを拾ってきて、木工所から三角形の木の切れ端をもらい、それを棒に釘で打ちつけ、ゴルフクラブにして遊んでいました。もちろんボールはピンポン玉です。学校に持っていくと、たちまちゴルフが流行り、いろんな角度のクラブを作っては、高さや飛距離を競っていました。たまたま、私が打ったクラブのヘッドが取れて、職員室のガラスが割れたものですから、ゴルフ禁止令が出て、学校でのゴルフは出来なくなりました。

それでも決してメゲルことなく、放課後、公園や空き地、稲刈りした後の田んぼを利用して遊び、それこそ街中がゴルフコースとなっていました。

私は決してゴルフは上手ではありません。上手ではありませんが、今も飽きずに続けられるのは、子どもの時のこの遊びがあったからじゃないかと思います。

先日、亡き母のタンスを整理していると、私の小学校時代、6年間の通信簿と卒業記念文集が出てきました。その卒業文集の中に、将来なりたい職業という欄がありました。そこには、「ゴルフの選手」と書かれていました。幼い頃に描いていた、そしていつしか忘れていた夢が、タンスの中にしまっていた卒業記念文集で、鮮やかに蘇ってきました。

そこで教育長にお尋ね致します。一般社団法人日本高等学校ゴルフ連盟のホームページには、高等学校及び中学校における教育活動として、ゴルフを通じて、「心身を鍛え、社会生活を営むに相応しい生徒を育て、ゴルフ界の健全な発展に寄与する」ことを目的に活動が掲載されています。緑の甲子園をはじめ様々な大会協議も開催されています。

本県の公立学校でのゴルフ部は、ほぼ皆無だと聞いていますが、本県のゴルフ部のある高等学校は何校あるのか、また、ゴルフ部創設にはどのようなメリットがあるとお考えなのかお聞かせ下さい。

やはり、ゴルフ人口のすそ野を広げていくためには、ジュニア時代から慣れ親しむことが何よりも大事なのではないかと考えます。

ゴルフ場利用税には、18歳未満の者による利用、学校教育法第1条に規定する学校の先生、生徒及び引率する教員による利用など、非課税措置が受けられます。

教育長、公立小学校、中学校、高等学校の授業等においてゴルフを実施するモデル校を検討しても良いのではないかとと思いますが、教育長のご所見をお尋ね致します。

過去の日本においては、ゴルフは贅沢なスポーツと言われていました。現在はプレー代金も安価になり、気楽にできるスポーツとなっています。何歳からでも始められ、適当に楽しむことができます。約7,000ヤード程で6km少々、山あり谷あり池ありなど、フェアウェイの右左を行ききしながら、8km以上は歩きます。プレーの最中は、自分の年齢や実力、ライの状態に応じてクラブ選択し、判断力、集中力、そして攻略方法を考えなければならない、頭を使い、精神面を鍛えるスポーツであると言えます。

今回、私は、新型コロナウイルスを払しょくする健康づくりについて、着眼大局着手小局の視点から、三密を意識することもない広大な土地で、おいしい空気を吸いながら、メンバーとの会話を楽しみ、免疫力を高めるゴルフを例に質問しました。

「病は気から、景気も気から」と申します。

知事には、大局的な観点から、県民の冷え込んだマインドを転換させるための、知事の未来社会に希望が見える力強いメッセージ、明確な経済再起動へのビジョンをお示し頂くことを最後にお尋ねして、私の質問を終わります。

ご清聴ありがとうございました。